

安倍首相が「3年以内に憲法9条改定」を表明

# 憲法9条 守れ

# あなたの思いを あぜ上三和子へ



あの東京大空襲では、江東はじめ下町一帯が焼け野原になり、一夜にして10万人余の尊い命が奪われました。こうしたたくさんの犠牲の上に誕生したのが憲法9条です。2度と戦争をしないと宣言した憲法9条は、日本の宝、世界の希望だと思います。日本を再び「戦争する国」にはなりません。

私は、平和な日本を子どもたちが生きる未来に手渡したい。「憲法9条守れ」の声を上げていきたいと思います。

あぜ上三和子

安倍首相の憲法9条改憲発言は、憲法に自衛隊を明記することで、「戦争しない」「軍隊を持たない」と決めた9条を死文化させ、海外で武力行使を制約なくできるようにすることがねらいです。自民党の下村博文幹事長代行が「都議選に勝たなければ2020年の憲法改正にも大きく影響する」と発言したことで、都議選の争点に急浮上しました。定数4人の中に憲法9条を守り抜く日本共産党のあぜ上三和子都議の議席がどうしても必要です。



## 「福祉が原点」～あぜ上三和子の歩み

### 自分のなかの差別意識に気づく

父から自立が大切だと言われ、高校時代から銀行などでトイレ清掃などのアルバイトをやりました。そこでは障がい者がたくさん働いていたこともあり、アルバイト先の社員から嫌がらせを受けたこともありました。でも、どんなにいじめられても自分は障がい者ではないし、家に帰れば「普通の人」という思いで耐える自分の中に、障がい者に対する差別意識があることに気づきました。

### 障がい者を強く意識するようになった理由は

高校まで、子ども会のジュニアリーダーなどをしていました。私が接していた多くの子どもの中には障がい児はいませんでしたが、本を読んで障がい者について強く意識するようになりました。区役所の窓口に行き、障がい者施設を紹介してほしいと相談したところ、「興味本位ではだめよ」と叱られたものの、病院のドクターを紹介してもらい、ボランティア活動に取り組みました。

### 「一緒に生きる」ことを学ぶ

都立保育専門学校卒業後に障がい児施設に就職しました。自分の中に「障がい者はかわいそうな人、自分とは違う」という差別意識を克服したいと、大人の障がい者施設に転職し、「一緒に生きる」ことを学びました。

その後、障



がい者施設で知りあった一人暮らしの障がい者Aさんから「あぜちゃんにグループホームをつくってほしい」と訴えられ、「休業してくるから5年間待って」と約束し、江東区の無認可保育所に転職しました。

### 差別意識を乗り越えたい—共産党員に

私は障がい者ボランティア活動を続けていましたが、自問自答の毎日でした。25歳の時に「空想から科学へ」の社会科学の本に出会い、すべての人が人間らしく生きられる社会という自分がめざす社会の姿をみつけました。自分自身が社会変革の道を進めていくとともに、自分の中にあつた「差別意識」も乗り越えないといけないと思い入党しました。

### 「みんなの施設増やしてよ」—激励され議員に

江東区の無認可保育所で働いて4年目の29歳のときに、区議会議員への立候補要請がありました。私は、「グループホームをつくる」約束があるのでと断りましたが、共産党の区議になることが、障がい者のみんなが喜ぶグループホームをたくさんつくる力になると訴えられ、区議になることを決意しました。約束を守れないとAさんに謝ったら、「素晴らしいと思うよ。みんなの施設を増やしてよ」と逆に激励されました。

### 私の信条

「福祉が原点」「弱い立場の人に政治の光を」—これが私の信条です。困っている人に寄り添い、一緒になって政治を変える議員になれば最高です。

暮らし、子どももの未来  
守ります—いのちと



東京都議会議員 **日本共産党**

# あぜ上 三和子

4年前、8議席から17議席へと伸ばしていただいた日本共産党都議団は、都民本位の都政改革をすすめるために力をつくり、都政の前向きな変化をつくりだしてきました。

私は、都民の願いの実現へ、都政改革をさらに前にすすめるために、みなさんと一緒にがんばります。さらなるご支援をお願いします。

@miwako\_azegami



## 3期目 5つの約束

- 食の安全最優先に豊洲市場への移転をやめ、築地での再整備を。豊洲市場の施設は、都民の声を聞いて有効活用します。
- 医療・介護の負担の軽減、国保料を1人1万円引き下げます。
- 認可保育園を9万人分増やし、待機児をゼロにします。
- 特養ホーム2万人分増やし、待機者ゼロをめざします。シルバーパスは3千円券を新設し利用しやすくします。
- 都営住宅を大幅に増やします。若者や低所得者に家賃を補助します。

財源は  
あります

東京都の予算は総額およそ13兆円と巨額です。しかし医療や介護の予算は減り続けるばかり。長年の自民・公明都政が1m1億円もかかる外郭環状道路など大型開発優先に都民の税金をつぎ込み、くらしを支える予算を減らしてきたからです。税金の使い方をえれば暮らしの願いは直ちに実現できます。

# 許しません! 9条改憲

こうとう民報

2017年6月号外 発行所/こうとう民報編集委員会 責任者/猪又 武夫  
TEL 3648-5155 FAX 3648-5137 ホームページ http://www.koto-minpo.jp/

日本共産党江東地区委員会の政策と見解を紹介します。



いつも笑顔

頼れるお母さん



2期8年

# 都政を動かす願い、実現 あぜ上三和子



都政をただす

## チカラ

### 「食の安全・安心が何より大事」とずっと追及

あぜ上三和子都議は、石原知事(当時)と自民党、公明党が築地市場を豊洲の東京ガス跡地への移転を強引にすすめていた2009年に都議会議員に。当時からベンゼンやシアンなどの有害物質で汚染された土地に生鮮食品を扱う市場は共存できないとくり返し追及してきました。いまでは、都の専門家会議の座長も「(土壌汚染は)無害化できない」と言わざるを得なくなっています。

### 利権構造を追及—入札制度の改革に踏み出させる

新市場の工事予定価格が、当初から大きく増加していることに「利権の介在はなかったのか」と質問、小池知事は、「そのことも移転延期を決定した理由の一つ」とこたえ、費用増大について検証することを約束。あぜ上都議の質問をきっかけに東京都は、談合の温床になりかねない競争なしの「一者入札」をやめるという制度改革にふみきりました。



日本共産党都議団が豊洲市場の地下空間を発見(2016年9月)

### オリ・パラ経費を2,000億円削減。会場見直しを応援

あぜ上三和子都議は「オリンピック・パラリンピック特別委員会」の委員として、ムダを削り、くらし・環境を両立させ、地元も喜ぶ開催を求めてきました。ふくらむオリンピック・パラリンピックの経費についても、既存施設を有効に活用することなどを提案。これまで2,000億円を削減させました。

### 地元の野球場を守る

年間46万人もが利用する夢の島競技場や野球場などが数年間、使えなくなる問題を繰り返し追及。その結果、馬術会場が変更され、野球場12面を存続させました。有明テニスコートのコート数も守りました。

### 野球場がひきつづき使えて助かります

夢の島野球場がオリンピック工事の関係で数年間、使えなくなると聞いて、とても心配していました。あぜ上さんは、「くらしとの両立で地元も喜ぶオリンピックを」とかかかってがんばってくれました。野球場がひきつづき使えることになり、野球に携わる者として本当に助かります。(大島7丁目在住 片平宗夫さん)

### 議員報酬削減など議会改革で前進

議会の改革について、ほかの党との一致点での共同に努力し、3月議会で、議員報酬の2割削減、政務活動費の減額と会計帳簿・領収書のインターネットの公開が決まりました。また、費用弁償の廃止についても、自民党・公明党などが決めることに反対しつづけてきましたが、ねばりよく提案をつづけて全会一致で実施されることになりました。



## あぜ上三和子都議に 聞きました 市場移転

Q 豊洲に住む人たちが風評被害も含め心配していますが…

A 都の専門家会議の平田座長が、「無害化を約束することは私はできない」などと発言、東京ガス工場跡地の汚染が、いくら対策をしてもなくせないということがハッキリしました。将来にわたってリスクがある市場への移転をキツパリと中止することが地元の安心につながり風評被害を解決することにもなります。

Q 6千億円もかけて建物を建てたのに、どうするの?

A “無害化できない”豊洲新市場に移転すれば食の安全も守れないうえ、税金投入も続きます。生鮮食品の市場以外なら使える施

設であり、区民の声を聞いて、地元にも歓迎されるものに活用していくことこそ必要ではないでしょうか。

Q でも、なぜ、こんなことになったの?

A 市場移転という話はそもそも、食の安全・安心は二の次でした。「市場を東京ガス工場跡地に移せば、豊洲の開発につながり、築地の市場跡地でも大規模開発ができる」と都民のくらしよりも大規模開発優先という、石原知事以来の逆立ちした都政のゆがみの象徴が豊洲への市場移転問題です。石原知事らと二人三脚でこの計画をゴリ押ししてきたのが自民・公明ですが、まったく無反省のまま、市場の豊洲移転を小池知事に迫っています。こんな政治こそやめさせましょう。都民ファーストの会が移転の是非について態度を示していないのも無責任です。

区民との約束を実行する

## チカラ

### 認可保育園を増設

保育士出身のあぜ上三和子都議。認可保育園の整備や土地確保のための補助、保育士の処遇改善などを提案。それが実って、都内の認可保育園がこの4年間で5万3千人分増えました。



### 都独自の奨学金制度創設、 私立高校授業料の無償化の拡充

あぜ上三和子都議は、父母の経済的負担の軽減、少人数学級など教育環境の改善の提案をくりかえしおこなってきました。今年度の予算で、私立高校授業料の無償化の拡充、東京都独自の返済不要の奨学金が創設され、提案が実を結んでいます。

### 都立墨東病院の周産期医療など拡充

都民のみなさんと運動し、都立墨東病院の民営化にストップをかけ、周産期医療にかかわる医師・看護師の増員を求め、体制強化を図る。さらにがん治療の拠点病院に。

江東区議会議員6期22年

子ども医療費無料化の生みの親  
日本共産党区議団は1992年、乳幼児医療費の助成に関する条例を、江東区議会史上初めて提案。あぜ上区議は、「安心して子どもを産み育てたい」との区民の切実な声を紹介し、実施を強く求めました。これがきっかけとなり、「子ども医療費助成制度」が開始。その後も、年齢の拡大などを繰り返し提案し、いまでは中学3年まで全員、医療費が無料となっています。

地域に身近な

## チカラ

### 歩行者用の青信号を延長

幹線道路の歩行者用信号が「横断途中で点滅を始めて怖い」との高齢者の声を聴き、直ちに現地を調べ、警視庁に要請。青信号の時間が伸び、幼子を連れた若い母親も「安心して渡れます」と。

### バス路線の新設、拡充

「東陽町からガン研有明病院に直通バスを」など住民要求実現へ交通局交渉にも一緒に参加、運動を励ましながら東陽町駅前⇒豊洲昭和大学病院間のバス路線新設など実現。



### 都営新宿線の駅舎改善

「洋式トイレを増やしてほしい」—駅利用者の声を議会で繰り返し要求。改修されたトイレに「きれい、使いやすい」との声が寄せられました。駅舎の冷房化も促進。

### 駅ホームからの転落事故防止へ対策進む

視覚障がい者が駅ホームから転落・死亡する事故を無くしたいと、ホームドア設置を繰り返し要求。大島駅から設置されることになりました。



ホームドア設置予定の大島駅を視察